

研究課題名	見逃された同時性胃腫瘍の内視鏡的特徴と AI による検出可能性の検討
研究の意義・目的	早期胃癌を含む胃腫瘍に対する内視鏡的切除術は広く行われていますが、胃腫瘍は多発することがあり、同時期に別の胃腫瘍（同時性胃腫瘍）の存在が疑われるにもかかわらず、治療前に見つけることができず、治療時または治療後短期間で見つかる場合があります。治療前に同時性胃腫瘍を見つけれなかった場合、患者さんに追加の治療負担がかかります。本研究の目的は、当院で過去に内視鏡的切除術を受けられた患者さんのデータを用いて、こうした「見つけにくい同時性胃腫瘍」の特徴を明らかにすることです。さらに、近年進歩している人工知能（AI）を用いて過去の内視鏡画像データを解析し、AI が同時性胃腫瘍を発見できるかを検証します。なお、本研究では画像データの AI 解析を行うため、個人を特定できないよう加工した画像データを「株式会社 AI メディカルサービス」に提供し、解析を委託します。本研究の成果により、見逃されやすい同時性胃癌の特徴、および AI 導入による発見率向上の有無が明らかとなり、患者さんの追加治療負担を軽減することが期待されます。
研究を行う期間	機関の長の研究実施許可日 ~ 2030 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2010 年 1 月~2024 年 12 月に大阪公立大学医学部附属病院で胃腫瘍に対して内視鏡的切除術を施行された患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等： <ul style="list-style-type: none">患者基本情報：年齢、性別、診断名、病歴、米国麻酔科学会術前状態分類、併存疾患、既往歴、抗血栓薬、喫煙歴、飲酒歴内視鏡検査結果：病変存在部位、病変色調、病変肉眼型、病変径、ヘリコバクターピロリ感染状況、胃粘膜萎縮の程度、検査時間、検査枚数、鎮静剤、鎮痙剤の有無、生検の有無臨床経過：新病変の発見時期、術前検査から新病変発見までの期間、治療日、治療方法病理検査結果：組織型、深達度、潰瘍の有無、脈管侵襲、水平断端、垂直断端、内視鏡的根治度 (eCura)、発見された病変に対して外科手術を行った場合はリンパ節転移の有無 <p>この研究では、内視鏡画像データを用いて以下の情報を取得します。</p> <ul style="list-style-type: none">AI 診断支援システムによる解析結果：画像ごとの病変検出の有無、検出領域、検出数等のシステム出力情報
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。 【研究責任者】 大阪公立大学大学院医学研究科 所属：消化器内科学 氏名：福永 周生 【委託先】株式会社 AI メディカルサービス

個人情報の取り扱い	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に加工した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。</p>
本研究の利益相反	<p>本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>今回の研究は、委託先である株式会社 AI メディカルサービスに画像データを提供し、内視鏡画像診断支援ソフトウェア gastroAI という AI による解析を役務として提供を受けます。</p>
研究に協力をしたくない場合	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
連絡先	<p>大阪公立大学医学部附属病院 消化器内科 担当者氏名：福永 周生、高橋 駿介 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話番号：(06) 6645-3811、FAX 06-6645-3813</p>